

☆ここに挙げた 5 領域に沿った課題設定を子どもひとりひとりの発達や特性に合わせて行い、個別の支援計画として提示します。利用児本人の意向や支援計画の理解、了承など、自己決定の機会も保障しています。

ぽっぽ・おりーぶ

言語・コミュニケーション

♪スタッフや友だちと会話ややり取りを楽しむ中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを汲み取ったりする力を養っていきます。
♪遊び方、教材・教具の使い方など、ルールが誰にもわかりやすいよう視覚化して提示しています。



運動・感覚

♪広い支援室、園庭、隣接する公園といった恵まれた環境の中で、ボール遊び、跳び箱、木登り、鬼ごっこなどの粗大運動をしっかりと楽しんでいます。

♪泥んこ遊び、スライム作りなどの感覚遊びを取り入れ五感に働きかけて、心身の健やかな発達を促します。

人間関係・社会性

♪小集団での遊びのルールや、公共の場でのマナーなど、子どもたちの発達に応じて細やかに設定し、繰り返し経験することで、社会性を身に付けていきます。
♪畑での作物づくり→販売する、といった連続性のある活動をする中で、地域の保育園の保護者の方や職員とのコミュニケーションを図ります。またそれに伴って、「できた!」「がんばった!」「楽しかった!」という成功体験を重ね、自己肯定感を重ね、自己有用感や自信につなげます。



健康・生活

♪来所→荷物の整理→連絡帳の提出→活動、といった大まかな流れの中で、基本的には「一緒にいたい人としていたいことをする」という自由活動を保障しています。

その日の自分の気持ちや、疲れ方に応じて、活動を選ぶことができます。

♪春見つけや秋見つけ、海水浴、焚き火や雪遊び、節分など、季節感のある活動やイベントを企画し、四季をしっかりと味わえるように工夫しています。



認知・行動

♪一日の流れや、所外活動での持ち物、バスの座席など、絵カードや写真を有効に使い、視覚的に分かりやすく提示しています。
♪室内をその時々に合わせて構造化し、「どこで何をするか」「何がどこにあるか」を分かりやすくすることで、自分で考えて行動に移せるよう支援しています。

